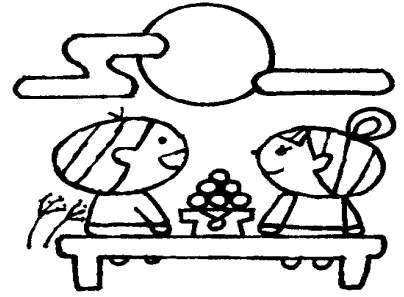


きくぐみだより 9月

平成28年 9月 2日

社会福祉法人尚徳福祉会 松が丘保育園



楽しいことがたくさんあった8月。休み明けには「ねえねえ、あのね…」と子どもたちの報告が止まらず、「耳が2つじゃ足りないな」と思いながら、土産話に耳を傾けていました。

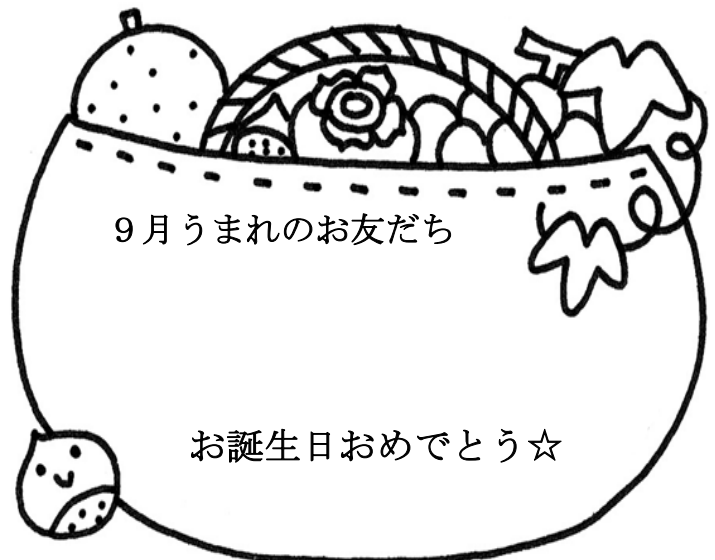
おじいちゃんやおばあちゃんの家遊びに行ったこと、花火を見たこと、お祭りに行ったこと、おうちのひとと過ごして楽しかったこと、様々な経験をその子なりに教えてくれました。「休みっていいよね!」と、子どもたちと気持ちを共有したのです。笑

子どもたちは私の休みにも興味があるらしく、「先生は何してた?」と聞かれることもしばしば。そんな私の夏休みは、大好きな音楽を聞きに音楽フェスに行ったり、毎年恒例の上野動物園のナイトゾーンに行ったり、家族と一緒に出かけたりしてリフレッシュ!しました。大人もリフレッシュ大事ですよ!

まだまだ残暑は厳しそうですが、これから秋に向けて子どもたちと一緒に季節を感じながら過ごしていきたいと思っています。

10月の行事予定

5日(水)	幼児身体測定
11日(火)	おはなし会
13日(木)	秋の健診
22日(土)	運動会
26日(水)	遠足
27日(木)	誕生会
28日(金)	避難訓練



栽培状況!

GW明けから栽培してきたナスとズッキーニ。毎日楽しみに観察していたのですが、残念ながらズッキーニは実らず…「難しかったね」と子どもたちと話しました。涙

ナスは数回収穫し、給食で塩もみ、みそ汁の具やえ物の具などで食べることが出来ました。

今度は冬野菜に向け、根菜に挑戦しようと思っています。



何を育てようかなあ…。



遊びの達人!?

玩具の扱い方が上手になってきたきく組の子どもたち。カードゲームやままごとなど友だちと誘い合って遊んだり好きな絵本をじっくり読んだり、机上の構成あそびを黙々と楽しんだり、クラスに移動すると遊びたくて遊びたくて仕方ない!という感じでササッと支度を整えて、遊びにはいっていきます。

大人では思いつかないような発想で色いろなものを作り上げていく子どもたち。本当に頭が柔軟だなと感心させられるばかりです。遊びのきっかけは大人が作るのですが、それを広げることが本当に上手なので、私は玩具を選ぶのが楽しい日々です。

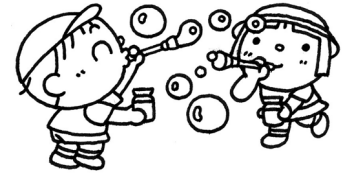
きく組の夏！みんなでこんなことをしました

○しゃぼん玉

大好きなしゃぼん玉。園庭で遊ぶ日は「今日、シャボン玉できる？」と楽しみにしていました。ただ飛ばすだけではつまらないのですが、濡れた地面にくっつくことに気付いたり、残った液をコップの中で吹くと泡がたくさんできることに気付いたり、色に変化することに気付いたり、1つの遊びの中でもたくさんの発見があったようです。

せっかくの発見を何かで残せたらいいなと思い、クレヨン画で自由にしゃぼん玉を描き、はじき絵をしました。紙の色、絵の具の色は好きな色を選びました。

クレヨンで描いた部分に絵の具が触れてはじくと「わっ！」と驚く様子が見られ、とても楽しんでいました。(制作の続きは下へ…。)



○水あそび

晴れた日はプールを楽しみました。初めは壁に背中をつけて座ってバタ足、そして宝石や貝拾い。特に宝石拾いは、「キラキラしてる～」と大人気でした！みんなで一緒に遊ぶ時間とそれぞれが好きなことをする時間を設けていたので、自由に遊ぶ時間には、わに泳ぎをしたり、水に顔をつける練習をしたり、友だちと誘い合って遊んだり、水でっぽうをしたり…思い思いに水に親しむ様子が見られましたよ。

プールのない日には園庭で泥あそびをしたり、ゴムチップの所で裸足になり、水でっぽうを楽しんだり、色水あそびをしたり、夏だからこそ楽しめる遊びを色々経験しました。

○制作

はさみや糊、クレヨンや絵の具などの扱い方に慣れるよう、日々の遊びの他に制作を楽しんできました。

天候に興味があり、午後になると「あっちが眩しい！」と夕日の方向を指さしていたので、光を楽しめるものを作ろうよ！と誘って窓に飾れるものを作りました。半分に折った紙に丸、三角、四角の中から好きな型を大人が描き、それをハサミで切って広げると…「わあ！穴が開いてる！」とびっくり。そこに好きな色のセロファンを糊で貼り、完成！色とりどりの飾りが窓を彩りました。「眩しい！」と言っていた窓辺の床にはきれいなセロファンの色が映り、「あ！この色はぼくが作ったやつだ！」「こっちにもでてる！」とそっと指で触れる姿が見られました。折り紙も大好きで色いろなものを作ろうと挑戦しています。早く完成させることや大人に手伝ってもらって完成させることよりも、丁寧に角を合わせることや、本を見ながら頑張ってみようとする気持ちを大事にしていきたいと思っています。まだまだ大人の手助けは必要ですが、友だち同士で「ここはこうだよ」と助け合う姿も見られるようになったんですよ。同じものを幾つも作ってお土産に持ち帰ることがあると思いますが、自信を持って折れるようになるまでは、何度も作ることが大切だと思うので、ご理解のほどよろしくお願いします。

○自然の光を感じよう！

生活の中に光が溢れる現代では、自然の光の中で過ごす機会が自分の子どもの頃より減っているように感じています。松が丘保育園は窓が大きく、自然の光がたくさん入るので、天気の良い日は保育室の電気を半分に調節し、自然の光の明るさを感じられるようにしています。

プールやシャワーをして、ちょっと休息して欲しいな…という時は電気を点けず、薄明るい部屋にしておくと、「ねえねえ、ゴロゴロしてもいいでしょ？」と空いているスペースで横になったり、明るい所を探して静かに座って本を読んだり、自然と体を休められるようになってきました。

電気が点いていないと天候の変化にも気づきやすく、「なんかちょっと暗くなったみたい」「おひさまがでてきたみたい」とブラインドの隙間から外の様子を見ています。夕立のあとは、園庭側に虹が出ることがあるので、「見にいきたい！」と廊下に出て、大きな窓から虹を探しています。

自然の光の中で少し目を休ませることが生活の中に必要だなと感じています。